



令和4年11月8日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」出場チームが決定 ～全国から24,500人を超える中学生がエントリー、科学の力を競う～ 19の企業・団体が科学好きな生徒を育てる機会を支援

JST（理事長 橋本 和仁）は、科学好きの裾野を広げるとともに、次世代の科学技術イノベーションの創出を担う優れた人材の育成を目的として、全国の中学生が都道府県を代表して科学の力を競う「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」を令和4年12月2日（金）から12月4日（日）まで、兵庫県姫路市で開催します。このたび、出場する全都道府県の代表チームが決定しました。

本大会は、全国の中学生が科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場として実施しています。全国大会では、各教育委員会が実施した都道府県大会で選出された47の代表チームが6人1チームで、理科や数学などの複数分野にわたる「筆記競技」と「実技競技」に取り組み、総合点を競います。各地での代表選考には、総計24,589人の生徒がエントリーしました。

また、本大会は産学官が一体となった新たな科学技術系人材育成モデルとして設計されており、この趣旨に賛同した19の企業および団体が、協賛または応援機関として本大会への支援を決定しています。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本大会は無観客で実施します。

JSTでは、発達段階に応じ才能を伸ばせるよう体系的な人材育成に取り組んでいます。「科学の甲子園ジュニア全国大会」や、本年度で12回目を迎える高校生版「科学の甲子園全国大会」などの事業を通じて、科学好きの裾野を広げ、活躍する機会を提供していきます。

大会の概要や出場チームなどの詳細は、別紙または下記ホームページを参照してください。

日 程：令和4年12月2日（金）～12月4日（日）
場 所：姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ
（兵庫県姫路市神屋町143-2）
U R L： <https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

<添付資料>

- 別紙1：「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム 一覧
- 別紙2：「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー 一覧
- 参 考：「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部 才能育成グループ
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル
岡田 啓一（オカダ ケイイチ）、兵子 智子（ヒョウゴ トモコ）

Tel : 048-226-5665 Fax : 048-226-5684
E-mail : koushien-jr[at]jst.go.jp

「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム 一覧

| 都道府県 | 学校名 |
|------|---|
| 北海道 | 北海道教育大学附属札幌中学校、函館ラ・サール中学校 |
| 青森県 | 青森市立南中学校、八戸市立長者中学校 |
| 岩手県 | 花巻市立宮野目中学校、盛岡中央高等学校附属中学校 |
| 宮城県 | 宮城県仙台二華中学校 |
| 秋田県 | 秋田県立大館国際情報学院中学校、秋田県立秋田南高等学校中等部 |
| 山形県 | 山形市立第四中学校 |
| 福島県 | 川俣町立川俣中学校、福島大学附属中学校 |
| 茨城県 | 茨城県立水戸第一高等学校附属中学校 |
| 栃木県 | 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 |
| 群馬県 | 樹徳中学校、伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 |
| 埼玉県 | 川越市立川越西中学校、さいたま市立大宮国際中等教育学校 |
| 千葉県 | 市川学園市川中学校 |
| 東京都 | 東京都立小石川中等教育学校、東京都立武蔵高等学校附属中学校 |
| 神奈川県 | 栄光学園中学校、洗足学園中学校 |
| 新潟県 | 長岡市立南中学校、新潟大学附属長岡中学校 |
| 富山県 | 入善町立入善中学校、砺波市立庄西中学校、富山大学教育学部附属中学校 |
| 石川県 | 白山市立松任中学校、金沢市立高尾台中学校 |
| 福井県 | 福井市明道中学校 |
| 山梨県 | 山梨学院中学校、山梨英和中学校 |
| 長野県 | 長野県屋代高等学校附属中学校、長野県諏訪清陵高等学校附属中学校、飯島町立飯島中学校 |
| 岐阜県 | 垂井町立不破中学校 |
| 静岡県 | 静岡大学教育学部附属島田中学校、浜松市立佐鳴台中学校 |
| 愛知県 | 海陽中等教育学校 |
| 三重県 | 高田学苑高田中学校 |
| 滋賀県 | 滋賀県立守山中学校 |
| 京都府 | 京都市立西京高等学校附属中学校 |
| 大阪府 | 大阪星光学院中学校、大阪府立咲くやこの花中学校 |
| 兵庫県 | 福崎町立福崎東中学校、兵庫県立大学附属中学校 |
| 奈良県 | 西大和学園中学校 |
| 和歌山県 | 和歌山県立田辺中学校 |

| 都道府県 | 学校名 |
|------|--|
| 鳥取県 | 鳥取市立東中学校、鳥取大学附属中学校 |
| 島根県 | 島根大学教育学部附属義務教育学校、出雲市立斐川西中学校 |
| 岡山県 | 岡山大学教育学部附属中学校、岡山県立倉敷天城中学校 |
| 広島県 | 広島学院中学校 |
| 山口県 | 宇部フロンティア大学付属中学校、慶進中学校 |
| 徳島県 | 徳島県立城ノ内中等教育学校 |
| 香川県 | 香川大学教育学部附属高松中学校、香川大学教育学部附属坂出中学校、 大手前高松中学校 |
| 愛媛県 | 愛光中学校 |
| 高知県 | 香南市立野市中学校 |
| 福岡県 | 久留米大学附設中学校、広川町立広川中学校 |
| 佐賀県 | 佐賀大学教育学部附属中学校、佐賀県立唐津東中学校 |
| 長崎県 | 長崎大学教育学部附属中学校 |
| 熊本県 | 真和中学校 |
| 大分県 | 大分大学教育学部附属中学校 |
| 宮崎県 | 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校、宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 |
| 鹿児島県 | 鹿児島市立西陵中学校 |
| 沖縄県 | 沖縄県立開邦中学校、那覇市立首里中学校 |

「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー 一覧
 (50音順・予定含む)

| No. | 協賛企業・団体 |
|-----|--------------------|
| 1 | 株式会社内田洋行 |
| 2 | 株式会社エムス・テック |
| 3 | 株式会社学研ホールディングス |
| 4 | ケニス株式会社 |
| 5 | 株式会社島津製作所／株式会社島津理化 |
| 6 | スカパーJ S A T株式会社 |
| 7 | 帝人株式会社 |
| 8 | テクノプロ・グループ |
| 9 | 株式会社東芝 |
| 10 | トヨタ自動車株式会社 |
| 11 | 株式会社ナリカ |
| 12 | 公益社団法人 日本理科教育振興協会 |
| 13 | 公益財団法人 ひょうご科学技術協会 |
| 14 | UBE株式会社 |

| No. | 応援企業・団体 |
|-----|-------------------|
| 1 | 株式会社キョーリン |
| 2 | サントリーホールディングス株式会社 |
| 3 | 山陽特殊製鋼株式会社 |
| 4 | 公益財団法人 日本発明振興協会 |

「第10回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

1. 目的

科学の甲子園ジュニアは、理科や数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とします。

2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催 科学技術振興機構（JST）
- ② 共催 兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市
- ③ 後援 文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会、公益社団法人 日本理科教育振興協会

※都道府県教育委員会および協働パートナーの協力を得て開催

3. 開催日程

- ① 令和4年12月2日（金）～4日（日）
- ② 大会の日程は以下の通り
※新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法などが変更になる可能性があります。
 - 12月2日（金） 開会式
 - 12月3日（土） 筆記競技、実技競技
 - 12月4日（日） 表彰式

4. 場所

姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ
（兵庫県姫路市神屋町143-2）

5. 出場チーム

- ① 各都道府県教育委員会は、当該都道府県内の全ての中学校などを対象とした全国大会の代表を選考するための都道府県大会を行います。その実施方法は当該都道府県教育委員会の定めによります。
- ② 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとします。
- ③ 全国大会出場チームは複数の学校で編成される場合もあります。
- ④ 出場チームは中学1、2学年の生徒（中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒）で構成します。
- ⑤ 出場チームの員数は6人とします。

6. 競技の種類

全国大会では、「筆記競技」と「実技競技」を行います。

① 筆記競技

理科・数学などの複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加え、競技に必要な新たに示された情報

を統合することで課題を解決します。

② 実技競技

ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題解決能力を競います。

7. 競技の形式

筆記競技は6人1チーム。実技競技は3人1チームで、課題を分担、相談するなど協力して成果を競い合います。競技者数および競技時間は以下の通りです。

| 種 目 | 競技者数 | 競技時間 |
|-------|------|------|
| 筆記競技 | 6人 | 70分 |
| 実技競技① | 3人 | 90分 |
| 実技競技② | 3人 | 150分 |

8. 表彰など

- ① 各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定します。
- ② 優勝チームに文部科学大臣賞を授与するほか、成績上位チームについても表彰します。
- ③ 主催者は協賛企業を募り、その他の表彰を授与します。
- ④ 成績上位の出場チームについては、その成績を公表します。

9. その他

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本大会は無観客で実施します。
- ② 政府による緊急事態宣言などの動向や、連携自治体のイベント開催方針などによっては、本大会の開催を中止とする可能性があります。

以上